



県北地域連合ニュース

発行所／福島地区連合 発行人／紺野 淳 福島市仲間町4-8 ラコパふくしま4階

E-mail: kenpoku@fukushima.jtuc-rengo.jp

Tel.024-526-0123 fax024-526-0124



地区労福協 普通救急講習会の開催



福島地区労働福祉協議会は、平成30年7月7日（土）13時30分からラコパふくしま A 会議室で普通救命講習会を開催しました。

この救命講習会は、突然の災害や事故等に遭遇しても慌てることなく救急車が到着するまでの間に素早く対処できるよう知識とスキル習得を目的しております。

救命講習会には、福島市消防署消の協力を得て、救急隊の穴戸氏を講師に迎え、16人の参加のもと行われました。

始めに、紺野事務局長から「自然災害や事故は、いつ起こるかわかりません。いざという時に慌てずに対応できるよう、今日は応急手当の基本的なことをぜひ覚えて帰ってください。」と挨拶があった後、穴戸消防士から、「福島市の救急車要請は、救急車が到着するまでの平均時間は約9分です。この9分の間に自分たち周りの者が救命救急の対応をすることにより、命を救える可能性が高くなります。本日の目的は、胸骨圧迫を習得し、安全確実に AED が使えるようにすることです。しっかりやってみましょう」と、応急手当の重要性と講習の目的について説明がありました。

最初に DVD を観ながらの講習。次に人形を使った心肺蘇生法の練習をしました。参加者は3人1組になり、心肺蘇生法（反応の確認、呼吸の確認、胸骨圧迫、人工呼吸）の流れについて確認しながらそれぞれ練習しました。続いて、AED の使用法を学んだ後、実際に倒れている人を助けるという想定でシミュレーションを行いました。

手順としては、倒れている人の意識を確認した後、呼びかけへの反応の有無を確認。次に、近くにいる人に協力を求め、119 番通報と AED の依頼、その後心肺蘇生法（胸骨圧迫）を周囲の者と交替しながら実施し、AED の到着後、音声ガイドに従い電気ショックを実施すること等を行いました。その後、止血の方法及び異物除去の方法まで、約3時間にわたる講習を受けました。

学んで分かったことは、胸骨圧迫を続けることの大事さでした。（人口呼吸は、できない場合無理はしなくてもとのこと）それと、心臓が痙攣し血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対しては、AED の電気ショックがないと助からないということです。機会があれば一人でも多くの方に学んでいただきたい講習会でした。後日、参加者全員に普通救命講習終了証が交付されます。



人形を使った心肺蘇生法の講習



AED 実施後の心肺蘇生法（胸骨圧迫）